

春夏秋冬

所長 田沢文章

いわず天井

木曾寮では、春から秋にかけて月に一回、施設のマイクロバスで希望者が郡内へプチ旅行に出かけます。

昨年は開田高原のやまゆり荘へ二回に分かれて二十名弱で行ってきました。

やまゆり荘と言えば、岩魚（いわな）天井が有名な温泉です。ただ岩魚が意外に大きくこれだけで腹一杯になる程のボリュームがあります。

私は昼食時に九十代も後半の女性利用者の斜め前に座りました。何を注文したのかなと思っていたら、出てきた食事は、海老フライと岩魚天井でした。

ボリュームたっぷりな食事と体の小さな利用者の姿はあまりに不似合いで、間違えて注文したのかなと思っていた

ら…、すべて平らげてしまいました。

その後、年末になつてから、この方が入院をしました。高齢であるので退院後を非常に心配しましたが…。

心配はまるで無用で、以前同様、今日も元気に廊下を歩いています。

岩魚天井だけで腹一杯になつてしまう私には、元気に長生きするのは難しいのかもしれない…。



お腹いっぱい食べて飲んで

女性は強し

男女雇用均等と言われ、女性の地位向上が今でも話題になります。しかし、生命力に關しては、昔から女性優位に変わりはありません。

現在、木曾寮の男女別の利用者数は男性二十五名、女性五十一名です。

利用者の平均年齢は八十一歳ですが、この一月で百歳を迎えられた方が二名おられ、お二人とも女性で、かつ大変元気です。

私は現在五十代も中盤。この前の人間ドックでは肺年齢が七十一歳と診断されました。医師からは、「気にしないでください」と言われましたが、その言い方のほうが心配です。

猿の親子

木曾寮は小野という地区にあります。周りを自然に囲まれた、いい環境ですが、最近そんな地に猿が出現するようになりました。



看護専門学校の学生さんと交流

この前は、親猿の背中に小猿がしがみついて、近くの電線の上を器用に歩いて行きました。何かと猿害で嫌われるサルではありますが、その姿を見る限りはかわいらしいものです。

できたら、毎日時間を決めて電線の上を親子でゆつくりと歩いてもらえると、利用者も職員も楽しめていいのに、と不謹慎なことを考える今日この頃です。

また、本年もよろしく願います。